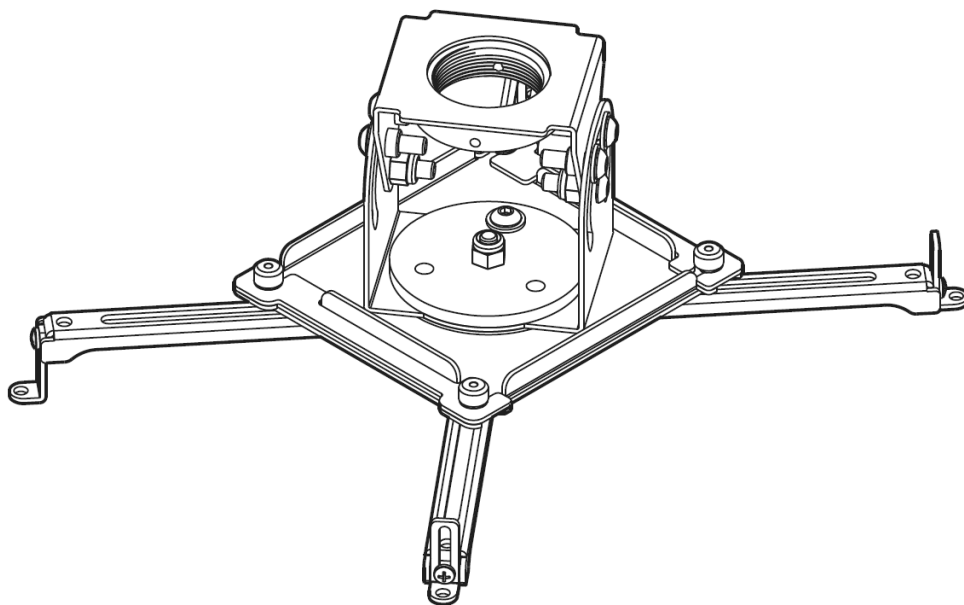


取扱説明書



プロジェクターシーリングマウント 型番 VPAUB / VPAUW



VPAUB : ブラックタイプ
VPAUW : ホワイトタイプ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。
こちらの製品は屋内専用です。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むプロジェクターおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 天井の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  警告：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やプロジェクターの落下につながり、非常に危険です。
-  警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  警告：プロジェクターの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にプロジェクターを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設 置 の 前 に**■設置場所について**

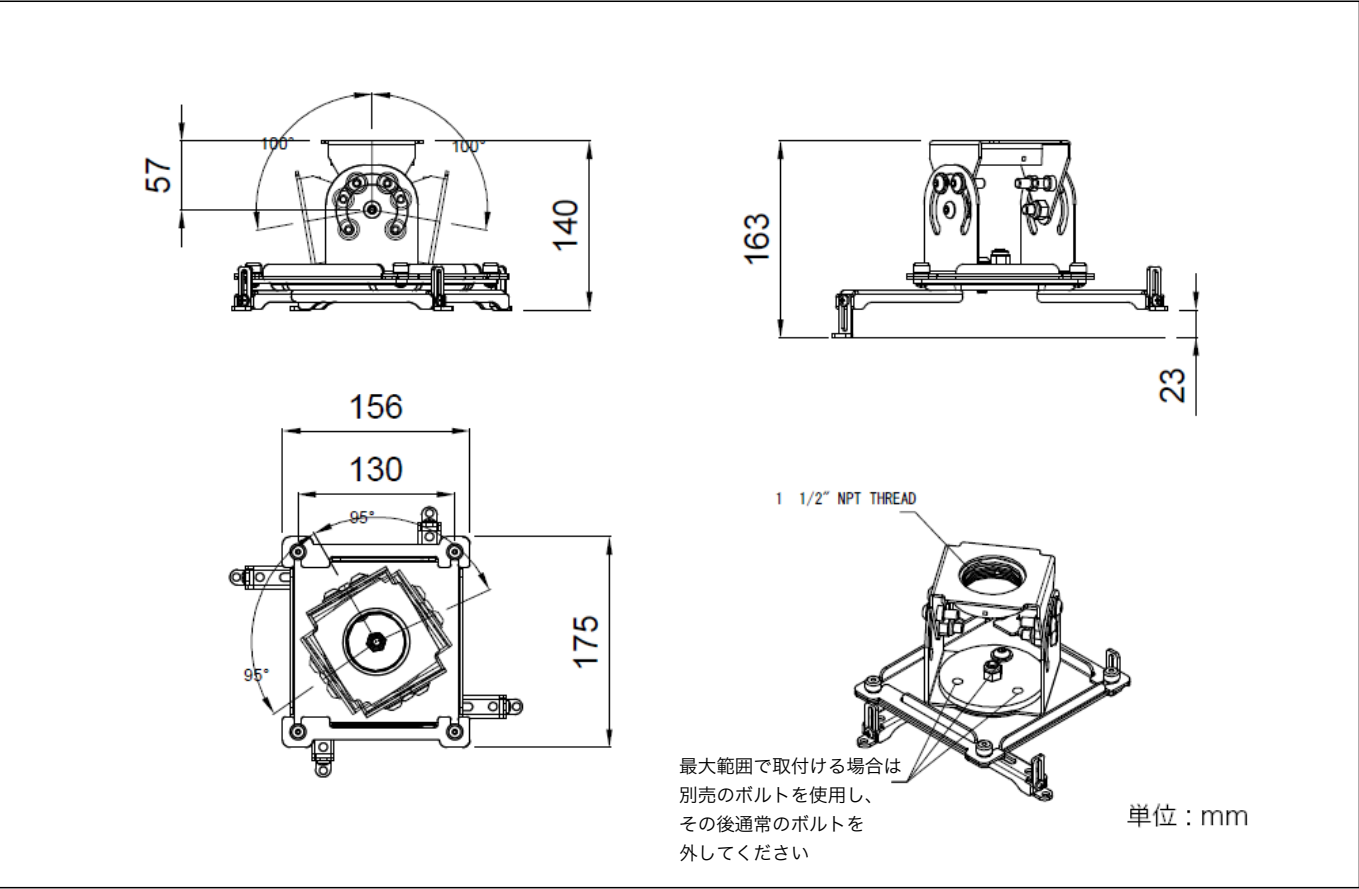
- 本製品とプロジェクターを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、プロジェクターと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの天井面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

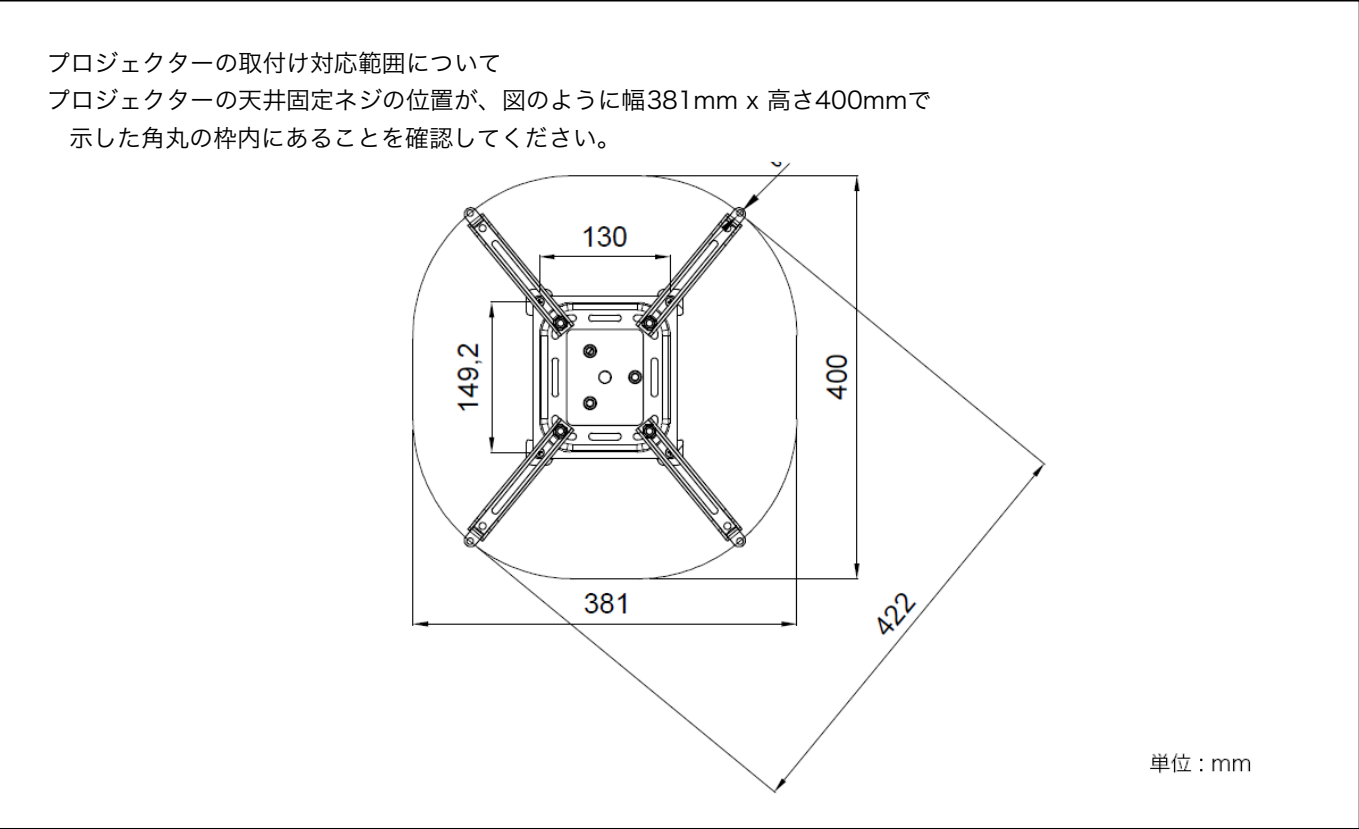
■設置方法

1. 各種の天井面に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、機器の天井面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って天井面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行なってください。
4. 天井面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 本製品は天井面にしっかりと取付けてください。本製品の取付穴4ヶ所にしっかりとボルト固定してください。

■各寸法図

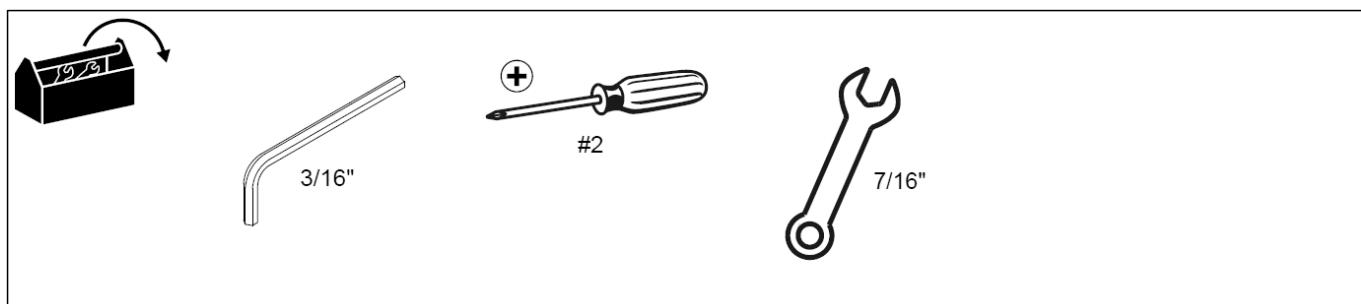


■取付対応範囲



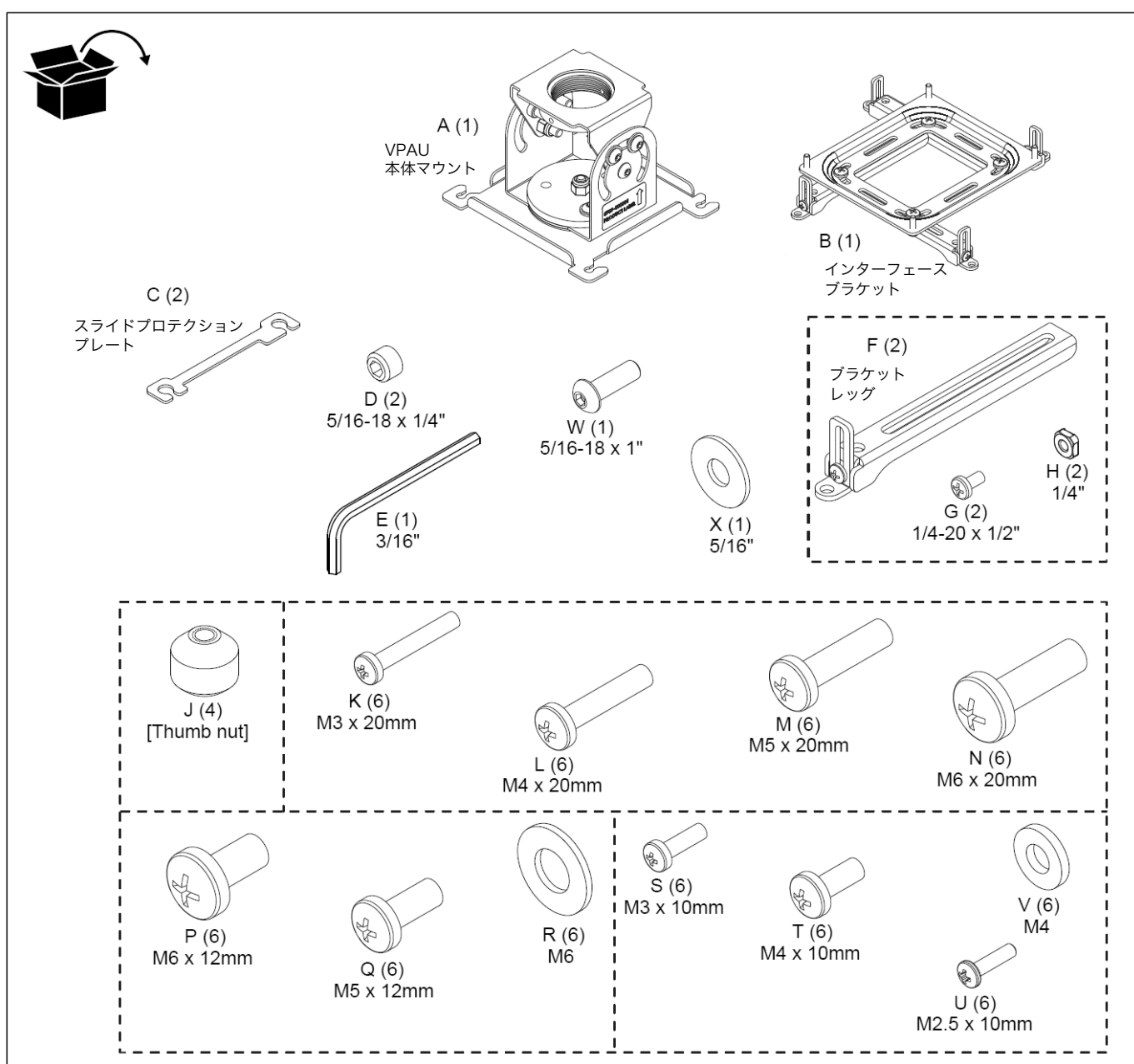
組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物

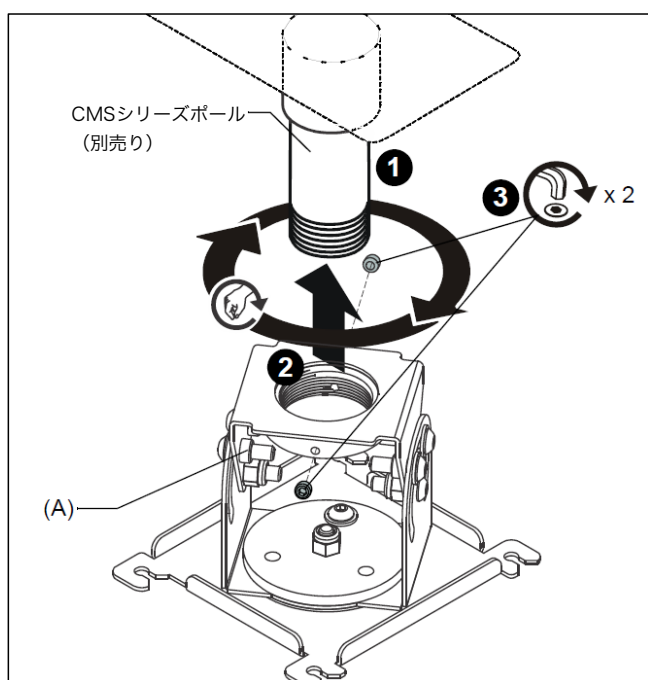
・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。



■CMSシリーズポールとの取付け

1. (天井側設置準備)
CMSシリーズシーリングプレート (別売) とCMSシリーズポール (別売) をしっかりと廻し留めます。
少なくとも4山以上は廻し留めて下さい。
2. VPAU本体マウント(A)に1. のCMSシリーズポール (別売) 下部をしっかりと廻し留めます。
少なくとも4山以上は廻し留めて下さい。
3. 別売セキュリティネジ (D) を【図-1】のように1～2個使用ししっかりと廻し留めます。

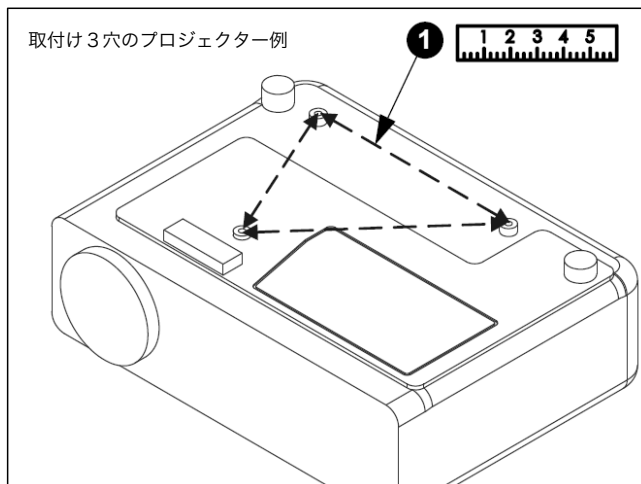
注意 ⚠ きつく廻し留め過ぎないようにご注意ください。
ネジ穴やネジが壊れる可能性があります。



【図-1】

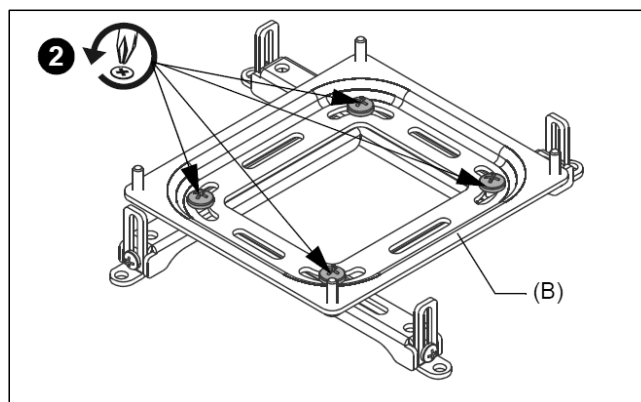
■プロジェクターへの取付け

1. プロジェクター (別売り) 側の取付け穴の場所を確認してください。



【図-2】

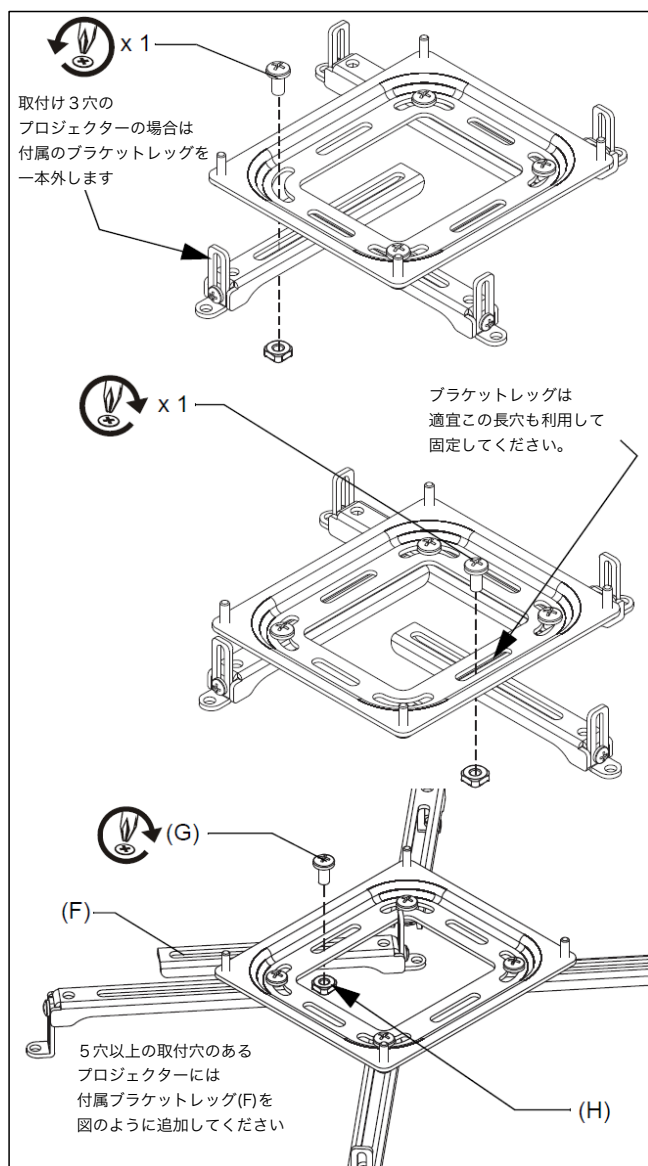
2. 【図-3】のようにインターフェースブラケット(B)の4つのビスを緩めます。ビスはブラケットから外さないでください。



【図-3】

■プロジェクターへの取付け

重要！ プロジェクターへの取付けは、必ず3穴以上にブラケットレッグ3本以上を使用して行なってください。



【図-4】

3. ブラケットレッグをプロジェクター（別売り）側のそれぞれ取付穴に合わせていきます。

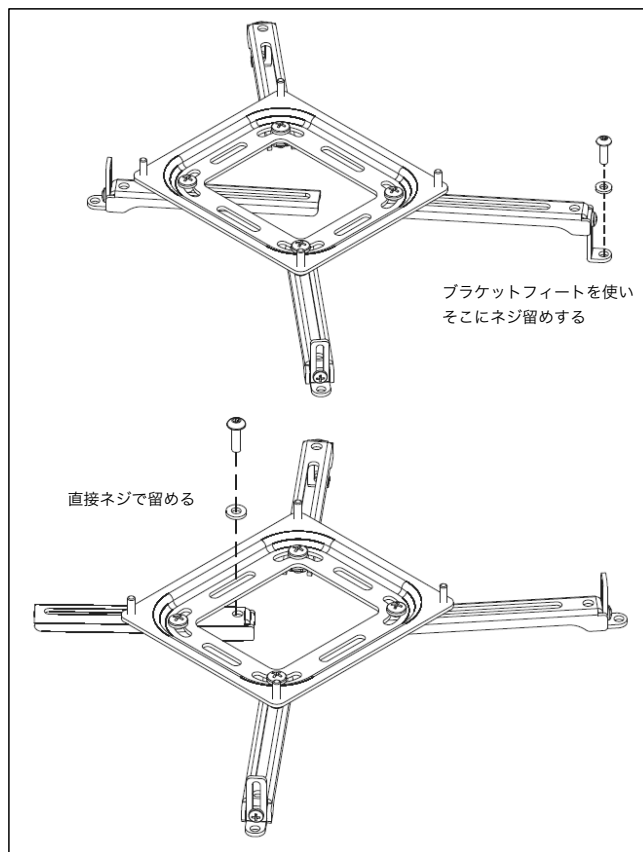
4. ちょうど取付穴の位置に合わせてレッグ部を動かしていきます。

5. 取付穴とブラケットレッグを付属ネジ(K-U)と付属フラットワッシャー(RまたはV)の最も合うタイプで留めていきます。（次ページ参照）

NOTE: M2.5およびM3、M4のネジはM4のフラットワッシャーと、
M5とM6のネジはM6のフラットワッシャーと
組み合わせます。

6. 【図-5】のように、プロジェクター（別売）側にブラケットフィート先端の高さを調整しながら、あるいは、ブラケットレッグの穴に直接にネジ留めしていきます。

7. ここではまだ全てのネジをきつく締めないでください。



【図-5】

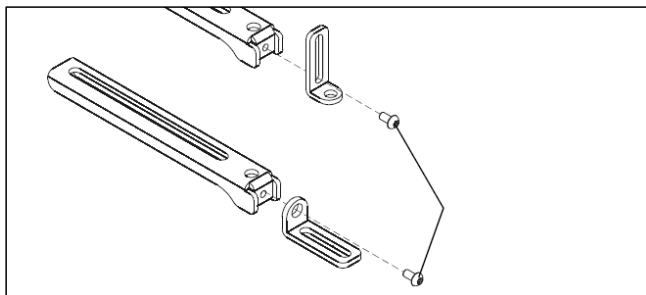
■インターフェースブラケットレッグ部の調整

注意 提供されている付属パーツを正しく使用してください。付属パーツを外して取付ないでください。

1. インターフェースブラケットレッグ部を正しい高さにそろえていきます。

NOTE: 高さはプロジェクター側の取付け穴の仕様や熱排気状況によって変更します。

2. 高さが調節でき水平が取れているか、取付けや動作の妨げになるような接触物がないかを目視確認します。
3. 【図-6】のように、ネジを緩め、レッグ部を微調整していきます。
4. ネジを締めていきます。
5. それぞれのレッグに対し同様に行ないます。

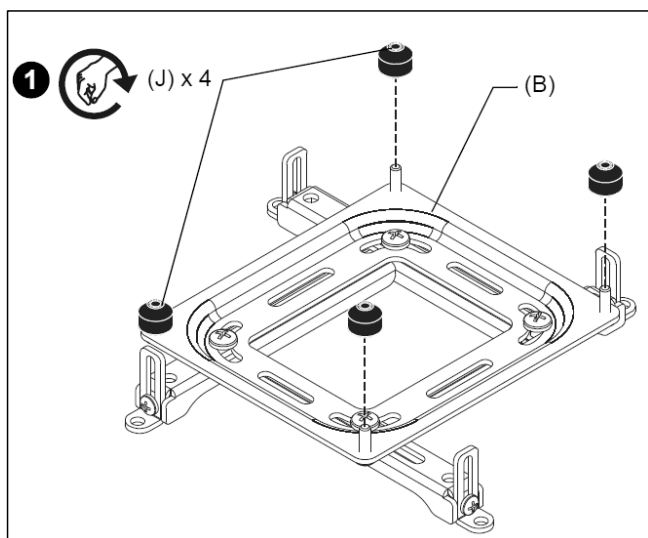


【図-6】

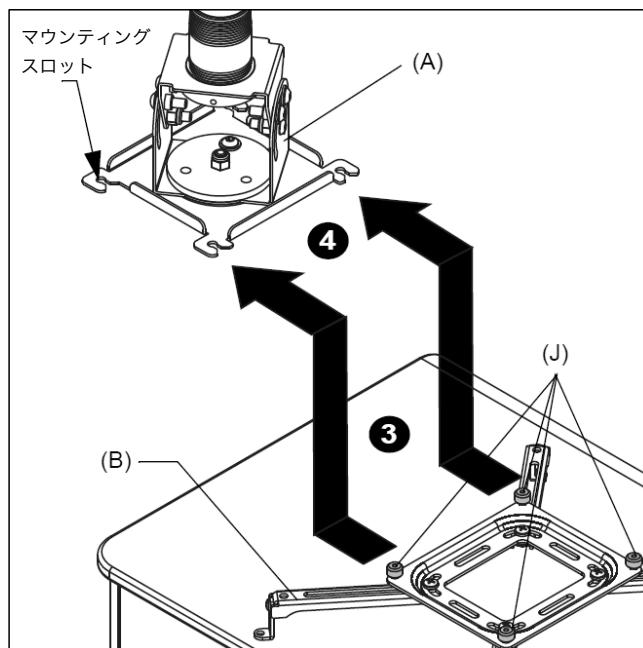
■プロジェクターの設置

警告： 誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

1. 付属ナット(J)をインターフェースブラケット(B)の四隅に取付ます。【図-7】

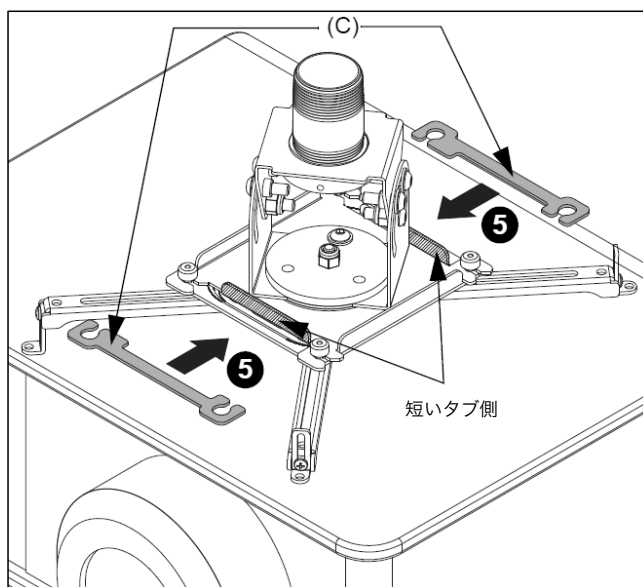


【図-7】



【図-8】

2. 【図-8】のようにVPAU本体(A)とプロジェクターを取付けたインターフェースブラケット(B)を正しい位置で組合せます。
3. プロジェクターごと引き上げ、VPAU本体(A)のネジ穴部と合わせます
4. 本体マウンティングスロット部にすべりこませます。
※インターフェースブラケット部を本体に必ずしっかりと正しい方向にはめ込んでください。



【図-9】

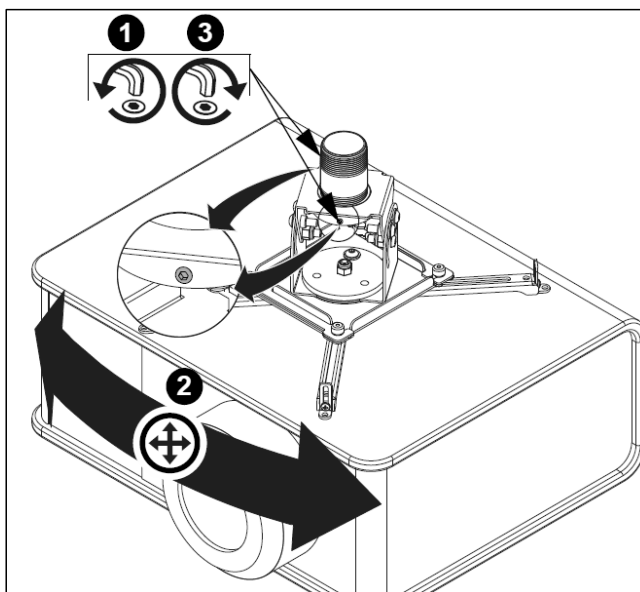
5. 【図-9】のように短いタブ側にスライドプロテクションプレート(C)を挟み込みます。
6. 最後にインターフェースブラケットの4端のナットをしっかりと締めて留めます。

警告： スライドプロテクションプレート(C)は、必ず
! VPAU本体とプロジェクターの投射調整を
 はじめる前に取付けてください。

NOTE: スライドプロテクションプレート(C)は、正しく
 留めても簡単に外れる構造になっています。

■プロジェクター投影の調整

向きの変え方



【図-10】

1. 【図-10】 のように向きを変えるためのネジを緩めます。

NOTE: こちらはポールからの回転方向を変えるのみの
 調整になります。

警告： ポールを緩めて方向を変えますが、ポールは必ず
! 4山以上は廻し留めて下さい。

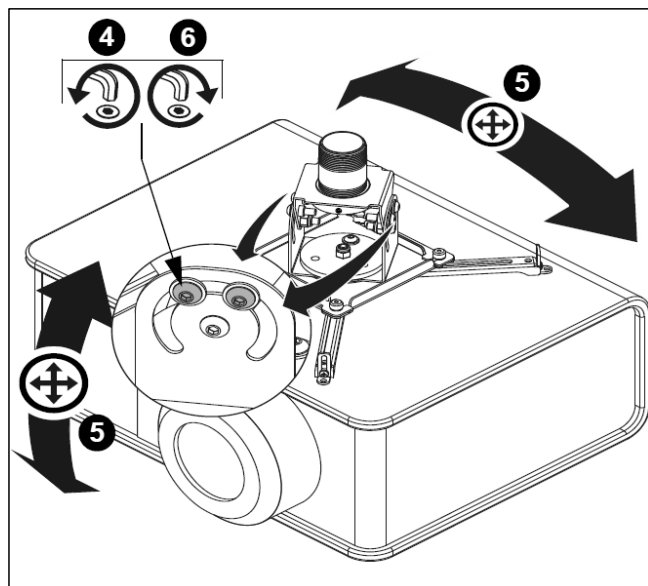
2. プロジェクターを投影したい方向へ廻し調整します。
3. 1. で緩めた向きを変えるためのネジを締め戻します。

【図-10】

垂直/傾斜方向の調整

注意： プロジェクター本体が垂直や傾斜角度変更対応のタイプか事前に確認をお願いします。

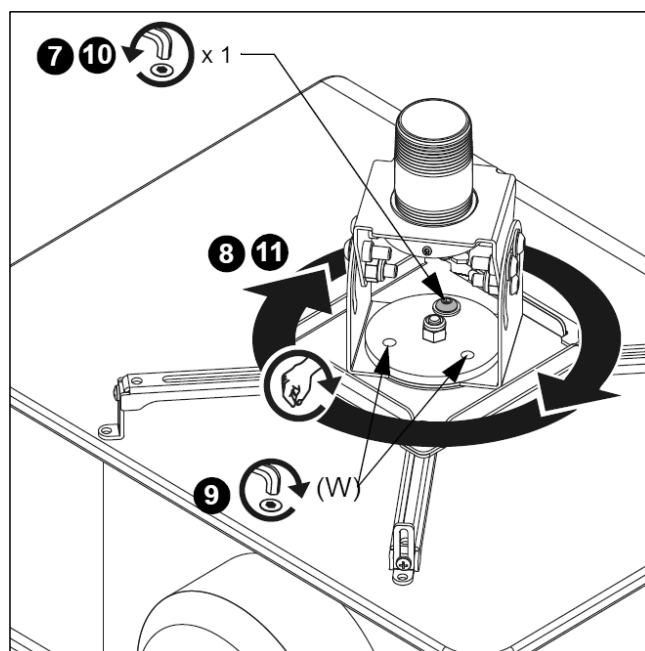
4. 【図-11】のように垂直傾斜調整用の2つのネジを緩めます。
5. 【図-11】の矢印のようにプロジェクターを投影したい方向に調整します。
6. 4. で緩めた垂直傾斜調整用の2つのネジ締め戻します。



【図-11】

回転方向の調整

7. 【図-12】のように回転方向調整用のネジを緩めます。
 8. 180°まで回転方向を調整できます。
- ※以下はそれ以上の角度調整が必要な場合に行なってください
9. 【図-12】のように他の2つの差込穴に付属ネジ(W)と付属ワッシャー(X)をあわせて留めます。
 10. 7.で緩めた付属していたネジを外します。
 11. 回転方向を調整します。
 12. 9. で取付けたネジをしっかり締めて留めます。



【図-12】

memo

- <http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8階
＜関 西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25

TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144